

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4407452

口座名義 一般社団法人凌霜会寄附口

(注) 同姓同名などの混同を避けるため、振り込み依頼人欄  
に①卒業・修了年次(昭和はS、平成はH)②出身学  
部・研究科名③氏名―の順にご記入お願いします。

## (公財)神戸大学六甲台後援会だより

(39)

### 大学評価について

先般文科省のスーパーグローバル大学からわが神戸大学が外れたことで、私ども事務局にも色々な声が寄せられています。なかでも、ある大学の先生から、神戸大学に先月、ある学生のお母さんが訪ねてこられて、「私は神戸大学が立派な大学であると思つて息子を入学させたのに」という苦情を訴えられたという作り話のようなことを聞かされショックでした。しかし、これより少し前に文科省が発表した22の研究大学の中には神戸大学は入っていますし、比較的最近の日本経済新聞に載せられた企業人事部の人達による全国大学の学生評価でも、神戸大学は京都大学に次いで第2位になっていました。今回の評価だけで失望することはないという声もあります。もともと、こういう大学評価は評価する機関によっても異なりますし、同じ評価機関でも時期によってかなり大きな差が生まれますから簡単に

◇事務局への寄附者ご芳名(前号以降11月10日現在)

凌霜36会喜寿を祝う集い実行委員会様 8万9840円

三木 得五郎様(昭36営) 10万円

ご寄附を賜り、誠にありがとうございます。ごさいました。厚く御礼申し上げます。

(一般社団法人凌霜会事務局)

はありません。

大学がグローバルかどうかの基準は色々ありますが、この際思い起こしたいことがあります。それは今から26年も前、当時の小渕官房長官が「地方を通じて国際化を考える会」を創設されたとき、神戸大学長はその委員に選ばれました。この会の委員は、外務省からは大河原前駐米大使、自治省からは細川熊本県知事など、数名の人々から成り、総理官邸で約6カ月間続けられたようです。何故そんなことになったかと言えば、まだ当時の神戸大学の留学生は東大、京大に比べるとそれ程多くはありませんでしたが、神戸大学は全国で初めて兵庫県に留学生交流推進会議を創設し、しかも、兵庫県と神戸市に全国でも例のない奨学金制度と住宅補助制度を採用して頂き、また、市内のボランティア組織、クロスカルチュラル・センターなどもあって留学生に対する親身の対応をするようになっていたからです。この努力は、今でも続けられ全国的にも誇るに足る動きになっています。なお、こうした努力と連携して本学卒業生である株式会社千趣会の社主高井恒昌さんが、留学生30名に月10万円の奨学金を支給できる奨学財団までも創設して頂き、今日までも続い

ていることは、いくら強調しても、し過ぎることはありません。それだけではありません。医学部では以前から熱帯医学研究に着手し、それとの関連でインドネシアの医学関係者に論文博士授与の道を開いてきました。また社会科学系の学部では、私ども後援会の持つロイ・スミス館を宿泊施設として数多くの外国人関係教授に利用して頂き、学術交流に努めてきました。しかも、社会科学系では、旧制大学時代から、国立大学では一橋大学とわが神戸大学だけが経済学・経営学関係の研究所を持っていた関係もあって、国際協力研究科が初めて名古屋大学に創設されたとき、本格的な社会科学系の国際協力研究科を神戸大学に創設してはと文部省（当時）から呼びかけられて、今日の研究科が成立したと聞いています。その国際協力研究科の努力で、ご承知のようにラオス国立大学の経済学部が創設され今日に至っています。そう言えば、国立大学の社会科学系学部・大学院で、神戸大学ほど多くの各国経済・経営・政治などの講座を開設しているところはないと言われています。経済学部・法学部の担当教授勢が、いくつかの国の公使として活躍してきているのも、こうした関係から生まれたことであります。

今回の文科省の審査のために、神戸大学当局もここで触れたようなことは、当然採りあげてくださったこととは思いますが。しかし、文科省も神戸大学の関係者の皆さんも、時間が経過するとこうした経緯と現在も続いている努力を忘れてしまうこともあり得ます。もし、こういうことも、認識されない状態になっていたらとすれば、何年か先になることはあっても、きつと文科省の方でも神戸大学の努力について再評価して頂けるのではないかと私どもは愚考しています。聞くところによると、これ

からは文科省は色々なプロジェクトで各大学への交付金支出について格差をつけてゆこうとされているようです。大学当局の一層のご尽力をお願いしたいと思います。

いつもご寄附ありがとうございます

今期も多くの皆さんの温かいご支援のお気持ちを受け取るこ  
とが出来ました。まずは水島鍬也先生お孫様の井上百合子様10  
万円、そして前号に引き続き三四会（昭和34年卒）の皆さんと  
昭和39年卒（12回生）の皆さんから10月25日のホームカミング  
デイに向けた記念大会としてのご寄附を頂きました。その他に  
も激励のお気持ちが届いていますので、卒業年次順に報告させ  
て頂きますと、凌幾会様（昭19・幹事橋本靖一）20万7、00  
0円、寿久会様（神戸経済大学19回生・昭24）9万5、267  
円、山藤正直様（昭33・経）5万円、三宅基治様（昭44・経）、  
木村正則様（昭50・経）10万円、高松牧人様（昭51・経）3万  
円、竹川清様（昭51・経営）5万円をはじめ、以下は昭和34年  
と昭和39年卒ですからそれぞれお名前と学部名とし、金額順に  
列記させて頂きます。昭和34年では、5千円が三宅良次様（経  
営）、田中温様（経）、森川貞臣様（経営）、青山誠様（経営）、  
池村泰様（経）、野々上元久様（経営）、井上喬夫様（経営）、鈴  
木祥宣様（経）、永長繁樹様（経営）の9名。1万円が小澤露  
史様（経）、野本貞夫様（経営）、島津久也様（法）、檀上晃利  
様（経）、野々垣剛様（経営）、渡辺仁太郎様（経営）、辻雄史  
様（法）、近藤寿夫様（経営）、本間晃様（法）、藤原徹三様（経）、  
米川毅様（経営）、乾尚様（法）、落海守様（経Ⅱ）、坂東健二  
様（法）、本間健一様（経）、有岡幹雄様（経営）、村手俊彦様（経

営)、城井康信様(経)、増田光一様(経営)、相田治様(経)、大滝利幸様(経)、松本信司様(経)、平井保様(経営)、藤原浩様(経営)、糸島司郎様(経)、野本貞夫様(経営)、本間健一様(経)、清水浩様(経)、故前田武和様夫人の29名、2万円が藤田益平様(経営)、石原義邦様(法)、宮崎高明様(法)、千田純一様(経)、中井正様(経営)の5名、3万円が中井正様(経営)、三木徹也様(経)、松本直身様(経)の3名、5万円が谷口彰彦様(経)、森山徹様(経営)、茂木孟様(経営)、川上泰正様(経営)、松村瑋郎様(経)、乾恒夫様(経)の6名、8万円が金原正展様(経営)、10万円が十場久嗣様(経)、田中正己様(経営)の2名、30万円が高崎正弘様(経営)の皆さんでした。次に、昭和39年卒では、3千円が平賀実様(経営)、新居正紀様(経営)、平井昭夫様(経)、吉野武夫様(経)、平林征児様(経営)、本沢俊紀様(法)、鳴尾彰様(経営)、三代信介様(経営)、寺本政利様(経営)、野田雅夫様(経営)、広瀬勝朗様(経)、山家悠紀夫様(経)、中谷公夫様(経)、木藤晴義様(経営)、片岡邦夫様(経営)、廣田武司様(経)の16名、5千円が岸本哲也様(経)、梅井昭三様(経)、山川豊夫様(経)、村松登様(経営)、上田康郎様(法)、堀井彰三様(経)、中山悦治様(経)、喜田都補様(経営)、橘田和雄様(経)、池田昌三様(経)、藤山欣也様(経営)、吉永直道様(経営)、西尾延男様(経営)、関水利博様(法)、高橋良治様(経営)の15名、7千円が戒田真幸様(経)、1万円が広瀬直樹様(経営)、清家静様(経営)、国宗孝雄様(法)、小林邦夫様(経)、今西良友様(法)、江崎勝久様(経営)、北川洋介様(法)、井上昌之様(経)、西田稔様(経)、岸本仙一様(法)、横川弘様(経営)、前田典

一様(経営)、木村逸美様(経営)、松本潔忠様(経)、浜崎浩一様(経)の15名、2万円が足立賢様(経営)、3万円が東中義明様(経)の皆さんでした。

お蔭様で今回ご報告出来るのは240万余円で、このご寄附をお願いするようになった平成16年度からでは合計3億174万余円にもなりました。皆さんからのご支援を衷心よりお礼申し上げます。

毎回お願い申し上げますが、寄附金の送り先は左記の通りです。よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合(銀行からの通知がどうしても遅くなり、領収書等のご送付が遅れる可能性がありますので、是非ご送金のことを事務局にご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください)

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: rokkodaifund@kobe-u.com